科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0101	科 目 名	社会人基礎力講座			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	相原　芳美			履修区分	選択
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	出席 30 点、課題 10 点、テスト 60 点						

１．授業概要

・挨拶や言葉遣いなど社会人として必要な基礎的な力を理解し、就職に対する意識を高め、チームで働く力や向上心を伸ばす。
・就職や将来の夢を実現するために、自己理解を深めた上で、書類の書き方や面接での基本姿勢などの演習を行い、実践形式の授業を展開する
・講義形式を基本とするが、実用的な学習・演習の時間も適宜取り入れる。

２．到達目標

・マナーやコミュニケーション等の社会人として必要な力とその重要性を理解している。
・基礎的なマナーを理解し、実践できている（挨拶、お礼など、私物を机の上で出さない、上着や帽子の着用等)。
・コミュニケーション力が、講座開始時よりも向上している（発信・傾聴)。
・自分の長所や短所など、就職活動に必要なアピールポイントを概ね理解できている。
・就職活動に対する意識が高まり、準備すべき事柄（書類を書く、エントリーする等）を理解できている。

３．授業計画

後期	
1	SMBC 特別講座　　SMBC コンシューマーファイナンス（株）
2	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
3	社会人に必要なマナーの理解（挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS 利用のマナー）
4	コミュニケーション力向上ワークショップ
5	「チームワーク」向上のワークショップ
6	マイナビ説明会　　（株）マイナビ
7	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
8	「考え抜く力」向上のワークショップ
9	着こなし講座　　コナカ・フラッグ
１０	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方
１１	「自己理解」のためのワークショップ①（価値分析・モチベーション）
１２	「自己理解」のためのワークショップ②（好きなこと・得意なこと）
１３	「自己理解」のためのワークショップ③（社会人基礎力の再評価・自己ＰＲ）
１４	会社の仕組みとホウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え
１５	面接練習・まとめテスト
１６	企業説明会のエントリー・参加マナー
１７	面接練習・まとテスト

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0102	科 目 名	特別講義			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	教養	担当講師	各企業より招集（統括：高橋　栄樹）			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	担当講師都度配布			参考書	（同左）		
成績評価	提出課題 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

１．授業概要

放送業務における多様な職種において、現役スペシャリストより肝要な知識を習得する。

２．到達目標

経験者より奥深い知識を得ることで現状の足場を固め一層成長し、自身の将来像を描く。

３．授業計画

後期	
1	特別講義の意義と受講の心構え
2	番組制作の現場と音声の仕事
3	スタジオ技術及び編集・MA
4	報道カメラマンとは
5	電気の基礎技術と国際通信
6	ニュースと報道番組の違い
7	実地における映像編集とは
8	4K8K 放送の撮影編集現場と DIT
9	報道中継と特殊撮影機材（特機）の運用例
１０	報道編集マンの仕事とは
１１	スポーツ中継映像とスポーツ ENG 映像の違いと役割
１２	BS4K8K 放送の現状と将来
１３	マスター業務とは
１４	中継業務とは
１５	放送関連技術企業への就職就業とは
１６	放送関連技術企業の研究
１７	職域としての各企業説明と求められる人物像

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0103	科 目 名	マルチメディア工学概論			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	高橋 栄樹			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし（都度配布）			参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布		
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

１．授業概要

デジタル処理された画像及び映像音声を扱う上での必須知識として、その仕組みと圧縮技術、各種記録媒体及びインターフェース（接点及び信号のやり取りの規格）について理解する。

２．到達目標

放送業界に携わる者として当該基礎理論を深め、次々世代の最新技術にも即応できるよう成長する。

３．授業計画

前期	
１	静止画像と動画映像の違い及び昨今におけるアナログ方式とデジタル方式の違いについて
２	各信号における解像度とは
３	インターフェースとは①
４	インターフェースとは②
５	各種ファイルフォーマットについて①
６	各種ファイルフォーマットについて②
７	各種ファイルフォーマットについて③
８	各種ファイルフォーマットを記録収納する記録媒体とは①
９	各種ファイルフォーマットを記録収納する記録媒体とは②
１０	各種ファイルフォーマットを記録収納する記録媒体とは③
１１	光ディクスの種類とその仕組みについて①
１２	光ディクスの種類とその仕組みについて②
１３	光ディクスの種類とその仕組みについて③
１４	次世代及び次々世代における記録メディアの将来像①
１５	次世代及び次々世代における記録メディアの将来像②
１６	前期に学んだ要点の復習及び定期考査の概要説明
１７	前期考査
後期	
１	「標本化・量子化・符号化」と圧縮技術について
２	圧縮技術とは　～静止画像及び音声の圧縮～①
３	圧縮技術とは　～静止画像及び音声の圧縮～②
４	圧縮技術とは　～動画映像の圧縮～①
５	圧縮技術とは　～動画映像の圧縮～②
６	放送に欠かせない著作権制度の概要について
７	マルチメディアにおける著作権①
８	マルチメディアにおける著作権②
９	私的録音補償金制度とは
１０	著作権料と補償金の分配について
１１	各著作権保護機能（ダビング１０やＣＰＲＭ等各制度）について
１２	作品鑑賞　～各著作権を意識し作品への著作権制度の理解を深める～
１３	作品鑑賞　～４Ｋ技術の作品を鑑賞し圧縮技術への理解を深める～
１４	国際放送機器展見学授業後レポート作成　～次々世代の技術を学びそして得ることができたか～
１５	前期並びに後期に学んだ要点の復習
１６	前期並びに後期に学んだ要点の復習及び定期考査の概要説明
１７	後期考査

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0104	科 目 名	基礎演習			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	斉藤 みゅん			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	演習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	各回で作成した課題提出 80%、授業態度 20%						

１．授業概要

学内での連絡ツールである Outlook メール、Teams アプリなどの使い方から、PC 基本操作レベルの確認をしながら、必要最低限の PC スキルの向上を図ると共に、Word・Excel ソフトを使用し文章作成・表計算などの基本特性を理解する

２．到達目標

Word・Excel の基本特性を理解した上で、文章作成のスキルを習得し、番組制作の際の資料を作成

３．授業計画

前期	
1	Outlook について：メール作成・返信・宛先
2	PC 基本操作：ショートカットキー、ファンクションキー
3	Word①（文章作成）：文字入力、記号入力、文字レイアウト
4	Excel①（表作成）：文字入力、表の罫線、計算機能、連続データの入力、行の挿入・削除
5	Word②：表の作成、画像の挿入、図形の作成
6	Excel②：画像の挿入、図形の作成
7	Word・Excel 共通：保存方法、ここまでの復習、メールに添付
8	Word③を使って、文章を作成してみよう
9	Excel③を使って、表を作成・表計算してみよう
１０	Word④を使って、図や画像を使った文章を作成してみよう
１１	Excel④を使って、時間割を作ってみよう
１２	Word⑤で撮影申請書類を作成してみよう
１３	Excel⑤で撮影スケジュールを作成してみよう
１４	Word⑥で撮影スケジュールの案内を作成してみよう
１５	Excel⑥で香盤表を作成してみよう
１６	Word まとめ：不得意操作の確認と解説
１７	Excer まとめ：不得意操作の確認と解説

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0105	科 目 名	一般教養講座Ⅰ			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	１年	開講学期	前　期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

１．授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

２．到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

３．授業計画

前期			
１	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
２	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
３	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
４	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
５	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
６	漢字：類義語・対義語	数学：１次方程式	読売ワークシート
７	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
８	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：２次方程式	読売ワークシート
９	漢字：音読み・訓読み①	数学：２次方程式の活用	読売ワークシート
１０	漢字：間違いやすい漢字①	数学：１次関数	読売ワークシート
１１	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 y=ax2	読売ワークシート
１２	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
１３	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
１４	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
１５	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
１６	期末試験		
１７	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0106	科 目 名	一般教養講座Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	１年	開講学期	後　期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

１．授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

２．到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

３．授業計画

後期			
１	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
２	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
３	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
４	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
５	漢字：熟語の読み・書き②	数学：２次方程式とその解	読売ワークシート
６	漢字：熟語の読み・書き③	数学：２次方程式の解き方	読売ワークシート
７	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：２次方程式の利用	読売ワークシート
８	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数ｙ＝ａｘ２・グラフ	読売ワークシート
９	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：２次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
１０	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
１１	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
１２	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
１３	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
１４	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
１５	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
１６	期末試験		
１７	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0107	科目名	海外研修			科目区分	兼任
科目群	教養	担当講師	校長			履修区分	選択
開講学年	１年	開講学期	後期	単位数	1	授業形態.	実習
教科書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 100%						

１．授業概要

海外へ１０日間ほどの語学研修を実施

２．到達目標

知識見聞を広め、グローバル社会を理解する。

３．授業計画

後期	
1	【研修内容】 渡航予定地　未定 研修予定　　語学研修時間　9：00～16：00　6 時間×5 日間　のべ 30 時間 宿泊　　9 日間　ホストファミリー宅 単位認定に係わる認定時間　　語学研修 30 時間　文化交流 90 時間　120 時間 学校としての成績評価　　評価は報告書内容による 学校としての単位認定基準　帰国後 3 週間以内に報告を提出した者　認定単位 2 単位

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0108	科 目 名	日本語講座 I			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	小野　恭子			履修区分	選択
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル＆模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題（プロジェクトワークを含む）20%、関心・意欲・態度 20%						

１．授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。オンライン教材での予習を前提とした授業です。

２．到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の４技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

３．授業計画

前期	
1	オリエンテーション、Can-do 自己評価チェック、レベルチェックテスト（言語知識・読解）
2	予習：読解のコツ、漢字 W1、ミニ講座 1 自他動詞、レベルチェックテスト（聴解）
3	予習：読解第 1 回、漢字 W2、ミニ講座 2 複合動詞①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第 1 回、漢字 W3、ミニ講座 3 複合動詞②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第 2 回、漢字 W4、ミニ講座 4 動詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第 2 回、漢字 W5、ミニ講座 5 い形容詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第 3 回、漢字 W6、ミニ講座 6 な形容詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第 3 回、漢字 W7、ミニ講座 7 副詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第 4 回、漢字 W8、ミニ講座 8 対義語①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
１０	中間テスト（JLPT 模試）
１１	予習：聴解第 4 回、漢字 W1-2、ミニ講座 9 対義語②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
１２	予習：読解第 5 回、漢字 W3-4、ミニ講座 10 同義語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
１３	予習：聴解第 5 回、漢字 W5-6、ミニ講座 11 擬音語・擬態語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
１４	予習：読解第 6 回、漢字 W7-8、ミニ講座 12 カタカナ語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
１５	予習：読解第 6 回、ミニ講座 13 慣用句、ピア・リーディング ディクテ、ミニ講座タスク、スピーチ発表
１６	期末テスト、Can-do 自己評価チェック
１７	追再試、補講

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0109	科 目 名	日本語講座Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	小野　恭子			履修区分	選択
開講学年	1	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル＆模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題（プロジェクトワークを含む）20%、関心・意欲・態度 20%						

１．授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。オンライン教材での予習を前提とした授業です。

２．到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の４技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

３．授業計画

後期	
1	予習：読解第 1 回、語彙 W1、ミニ講座 1 接続表現、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
2	予習：聴解第 1 回、語彙 W2、ミニ講座 2 文末表現①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
3	予習：読解第 2 回、語彙 W3、ミニ講座 3 文末表現②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第 2 回、語彙 W4、ミニ講座 4 こと・もの、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第 3 回、語彙 W5、ミニ講座 5 わけ・ところ、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第 3 回、語彙 W6、ミニ講座 6 条件、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第 4 回、語彙 W7、ミニ講座 7 否定表現、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第 4 回、語彙 W8、ミニ講座 8 敬語①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第 5 回、語彙 W1-2、ミニ講座 9 敬語②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
１０	中間テスト（JLPT 模試）
１１	予習：聴解第 5 回、語彙 W3-4、ミニ講座 10 敬語③、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
１２	予習：読解第 6 回、漢字 W5-6、ミニ講座 11 総まとめ①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、読解問題・活動
１３	予習：聴解第 6 回、漢字 W7-8、ミニ講座 12 総まとめ②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル＆模試」実戦問題、聴解問題・活動
１４	プロジェクトワーク：「行事紹介」
１５	プロジェクトワーク：「行事紹介」ジグゾー型で発表
１６	期末テスト、Can-do 自己評価チェック
１７	追再試、補講

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0110	科 目 名	社会人教養講座Ｉ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	天野　誠一			履修区分	選択
開講学年	１、２年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料　適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

１．授業概要

この講座では、社会人として第一歩を踏み出すに必要な、働くとことの意味について次のテーマに従って分かりやすく解説します。

1）労働法とは何か、2）働き始める前に知っておかなければならないこと、3）働くときのルール、4）仕事を辞めるとき、辞めさせられるとき、5）就職の仕組みに関して

講義は、講師側が一方的に話をして終わりという形ではなく、皆さんにも一緒に考えてもらい、質問も遠慮なくしていただきます。

２．到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

３．授業計画

前期１	2023 年年はどういう年か。世界の人口は８０億人。地球の誕生から。　人類の誕生から
２	世界の課題①地球温暖化　脱炭素
３	世界の課題②核戦力　広島でサミット
４	世界の課題③生物多様性
５	日本の課題①少子高齢化　人口は３分の２になってしまう
６	日本の課題②エネルギー確保が容易ではない
７	日本の課題③防衛力　地政学的な問題　防衛力
８	日本の課題④東京一極集中　地方の町村がなくなる
９	働くということ１　残業は必要なのか　最低賃金とは
１０	働くということ２　正規か非正規か　働き方改革
１１	働くということ３　失業したら　仕事でけがをしたら
１２	働くということ　解雇されたら
１３	作文演習①
１４	作文演習②
１５	作文演習③
１６	作文　演習」まとめ①
１７	作文　演習」まとめ②

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0111	科 目 名	社会人教養講座Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	天野　誠一			履修区分	選択
開講学年	１、２年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料　適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

１．授業概要

この講座では、社会の仕組み、そして今の日本が抱える諸課題について分かり易く説明するとともに、皆さんが学んだ専門知識や技術を存分に活用し、有意義な社会生活を送って行くために必要なノウハウを、アドバイスしていきます。

また、消費者教育として、個人の消費行動とそこの起こるトラブルについて認識し、新しいライフスタイルを主体的に選択し，創造できるようにする。

２．到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

３．授業計画

後期１	人類の歴史　宇宙の歴史　物の見方
2	個人情報は守れるか。IT 時代
3	税金、年金、健康保険　知らないと損をする。
4	新聞の役割　社会に欠かせないもの
5	犯罪と日本の警察
6	会社の選び方　いい会社と悪い会社
7	自己アピー＾ルの方法　面接の心構え
8	エントリーシートのポイント
9	日本をどうアピールするか
１０	危機管理の重要性　いざとなったらどうするのか
１１	失敗から学ぶ　ミスの原因　メモをする
１２	作文演習　コロナ禍と各国の対応　どのように生きるか
１３	作文演習　民主主義と選挙
１４	作文演習　情報の信頼性　正しい情報はどこから得られるか
１５	全体まとめ①
１６	全体まとめ②
１７	総復習

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0201	科 目 名	スタジオ実習Ⅰ			科目区分	実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	槇本　悟・斎藤孝行・菅谷正之			履修区分	必修
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし（都度参考資料配布）			参考書	（同左）		
成績評価	平常点や授業の貢献度 65%　番組制作課題作品の評価 35%						

１．授業概要

スタジオ番組制作実習を通してテレビの用語やルール、機材の取り扱いを理解し、チームワークの大切さ、仕事の楽しさを学ぶ。そして当校の番組スタジオ実習室を活用し実習授業を積み重ねることで、来るべき未来に即戦力として活躍できるよう学生らの成長を促す。また実務経験教員である斎藤先生はスタジオ業務におけるビデオエンジニアとして３０年以上の経験があり、その高い経験値を最大限実習授業に反映させ、より実践的で先端的な授業を展開する。

２．到達目標

２年次の実習に対応出来るよう基礎技術を習得する。

３．授業計画

前期	
１	授業説明　安全について　スタジオ機材説明(ペデスタルカメラ・SW・ミキサー・照明卓・CG) 体験
２	ペデスタルカメラ練習（パン・ズーム・フォーカス・ドリー）名前 CG テロップ作成
３	照明概論　照明機器説明　サブ機器説明（SW ミキサー 照明卓 CG ）　８の字巻体験
４	人物サイズ説明　TALL/ RET/インカム説明　ハンディーカメラ体験　音声ミキサー卓実習（マイク 音出し）
５	CAM SW MIX 実践（自己紹介を兼ねたインタビュー形式の対談で SW 体験）
６	総合照明実習　人物カメラサイズ説明　ペデスタルワーク練習
７	総合音声実習　８の字巻き習得　ハンディーカメラレンズ操作練習　QUE シート説明
８	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（叩いてかぶってジャンケンポン）
９	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（叩いてかぶってジャンケンポン）
１０	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（床で神経衰弱）
１１	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（床で神経衰弱）
１２	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（床で神経衰弱）
１３	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（椅子取りゲーム）
１４	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（椅子取りゲーム）
１５	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（椅子取りゲーム）
１６	前期末実技試験準備　　筆記テスト　試験対策補習　　８の字巻き復習
１７	筆記テスト　前期末実技試験（８の字巻き）
後期	
１	後期プラン発表　ジブ体験　ハンディーカメラ（ショートズーム）　照明強化実習　バックフォーカス講座
２	番組制作体験実習（クイズ・トーク・バラエティー番組）
３	歌番組で総合制作　カメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化　音声卓強化(N-1)
４	歌番組で総合制作　カメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化　音声卓強化(N-1)
５	歌番組で総合制作　カメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化　音声卓強化(N-1)
６	２元中継（中継）SW 強化（ワイプ）　照明強化　音声強化(掛け合い (N-1)
７	２元中継（中継）SW 強化（ワイプ）　照明強化　音声強化(掛け合い (N-1)
８	２元中継（別スタジオ）　SW 強化（ワイプ）　照明強化　音声強化（掛け合い N-1)
９	２元中継（別スタジオ）　SW 強化（ワイプ）　照明強化　音声強化（掛け合い N-1)
１０	スタジオ簡易ドラマ実習
１１	スタジオ簡易ドラマ実習
１２	スタジオ簡易ドラマ実習
１３	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（人間すごろく）
１４	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（人間すごろく）
１５	番組制作体験実習　ゲームで SW 体験（人間すごろく）
１６	後期技術試験（８の字巻き）試験の様子を SW 実習
１７	後期技術試験（８の字巻き）試験の様子を SW 実習

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0202	科 目 名	音声実習			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春　田中 健治			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への関心度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

１．授業概要

テレビ番組においての音声の収音方法を基本的な機器操作や技術を習得し、講師の経験から各種番組のノウハウを理解する

２．到達目標

学生全員が音声を担当しても困らない水準の音声技術を習得する

３．授業計画

前期	
1	録音とは、マイクとは、ケーブルの種類を説明
2	各種音声コネクターの説明とケーブルの巻き方の指導
3	マイクとポータブルミキサーの操作方法の解説
4	ポータブルミキサーミキシング実習 1
5	ポータブルミキサーミキシング実習 2
6	スタジオの音声機器の解説と各機器の操作方法
7	音声調整卓の操作方法の説明
8	音声調整卓の操作実習
9	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 収音の実習 1
１０	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 収音の実習 2
１１	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 1
１２	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 2
１３	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 3
１４	前期のまとめ①
１５	前期のまとめ②
１６	前期のまとめ③
１７	前期期末試験
後期	
1	スタジオブームドリーの使用方法の実習
2	Boom(竿)での収音の解説とドラマでの台詞の録音実習 1
3	Boom(竿)での収音の解説とドラマでの台詞の録音実習 2
4	MA(Multi Audio)とは
5	DAW(ProTools)の使い方 1 (基礎)
6	DAW(ProTools)の使い方 2 (セッションの作り方)
7	DAW(ProTools)の使い方 3 (トラックとは)
8	DAW(ProTools)の使い方 4 (インポートとは)
9	DAW(ProTools)の使い方 5 (整音とは)
１０	DAW(ProTools)の使い方 6 (効果音の取り込み)
１１	DAW(ProTools)の使い方 7 (音楽の取り込み)
１２	DAW(ProTools)の使い方 8 (トラックダウンの設定)
１３	DAW(ProTools)の使い方 9 (トラックダウン 1)
１４	DAW(ProTools)の使い方 10 (トラックダウン 2)
１５	DAW(ProTools)の使い方 10 (トラックダウン 3)
１６	DAW(ProTools)の使い方 10 (トラックダウン 4)
１７	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0203	科 目 名	ノンリニア編集			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	植竹邦央、山道源喜、石川和音			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書	独自の配付資料有り		
成績評価	後期実技試験と出席率を加味し総合評価						

１．授業概要

1 段階的な映像編集の実習を通して基礎の編集技術を身につけ、映像への興味を養う
2 現役編集者の実技指導によって編集の面白さと楽しさ、そして難しさを知り、専門職への夢を持たせる
3 映像を編集することにより構成能力、表現能力、感受性を磨く

２．到達目標

映像を編集する為の構成能力、表現能力、感受性が向上する。

３．授業計画

前期	
1	編集ブースの割り振り、基本的な用語の説明、編集機の取り扱い、基礎講座
2	カラーバーやクレジットの作成および編集機の取り扱い
3	レベル 1「カフェテラス」２カットを編集する　編集ソフトの取り扱いに慣れる
4	レベル 2「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する
5	レベル 2「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する
6	レベル 3「ランチ」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する（復習）
7	レベル 3「ランチ」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する（復習）
8	レベル 4　レベル 2・3 で使った素材を使ってシーンの変わり目とシークェンスを意識する
9	レベル 4　レベル 2・3 で使った素材を使ってシーンの変わり目とシークェンスを意識する
１０	レベル 4　レベル 2・3 で使った素材を使ってシーンの変わり目とシークェンスを意識する
１１	レベル 5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間 30 分で終了を目指す）
１２	レベル 5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間 30 分で終了を目指す）
１３	レベル 5「談笑」イマジナリーライン意識の編集（編集時間 30 分で終了を目指す）
１４	レベル 5「談笑」イマジナリーライン意識の編集（編集時間 30 分で終了を目指す）
１５	編集技術前期総合トレーニング①
１６	編集技術前期総合トレーニング②
１７	編集技術前期総合トレーニング③
後期	
1	レベル 6　リポート編集の基礎練習
2	レベル 7　「彼岸花」リポート形式による編集
3	レベル 7　「彼岸花」リポート形式による編集
4	レベル 7　「彼岸花」リポート形式による編集
5	レベル 8　「バンジージャンプ」リポート形式による編集
6	レベル 8　「バンジージャンプ」リポート形式による編集
7	レベル 8　「バンジージャンプ」リポート形式による編集
8	レベル 9　「よさこい祭り」リポート形式による編集
9	レベル 9　「よさこい祭り」リポート形式による編集
１０	レベル 9　「よさこい祭り」リポート形式による編集
１１	レベル 10 「雪の大谷」リポート形式による編集
１２	レベル 10 「雪の大谷」リポート形式による編集
１３	レベル 10 「雪の大谷」リポート形式による編集
１４	レベル 10 「雪の大谷」リポート形式による編集
１５	編集技術総合振り返り①
１６	編集技術総合振り返り②
１７	編集技術総合振り返り③

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0204	科 目 名	ＥＮＧロケ取材基礎			科目区分	実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	高橋 栄樹　田中 健治			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	前期	単位数	２	授業形態.	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布		
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

１．授業概要

ＥＮＧカメラ及びフィールド３ＣＨミキサーの操作を確実に理解し、基本的な撮影方法を習得する。
担当教員は日本テレビ放送網株式会社報道局映像取材部及び系列放送局報道部にて 20 年以上所属、実地勤務した経緯を有し常に最前線の取材現場にてカメラと音声を担当、その技術を惜しみなく伝えることで高度な専門性を会得させる。

２．到達目標

それぞれの撮影機材の用途及び基本操作を理解し、必須装備として利活用できるよう成長する。

３．授業計画

前期	
１	ガイダンス】受講心得と趣旨説明 ＥＮＧ解説 放送機材(カメラ及び三脚)の構造と取り扱い方法
２	ＥＮＧ概念】色温度及びＴＣ(ﾀｲﾑｺｰﾄﾞ)説明 「表現」の根源である５Ｗ１Ｈの解説
３	撮影基礎①】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し「伝える」表現の根底を理解する～
４	撮影基礎②】実習後撮影素材評価 基本的なｶﾒﾗｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの習熟訓練実施
５	撮影基礎③】業務用小型カメラ及び三脚の構造と取り扱い方法
６	撮影基礎④】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し「伝わったかどうか」の結果を理解する～
７	撮影基礎⑤】実習後撮影素材評価 ｶﾒﾗｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの更なる向上のため習熟訓練実施
８	録音基礎①】ガンマイク及びフィールド３ＣＨミキサーの取り扱い方法
９	録音基礎②】ガンマイク及びフィールド３ＣＨミキサーの取り扱い方法 ＥＮＧカメラとの結線
１０	総合基礎①】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し確実に「伝わる」表現を習得する～
１１	総合基礎②】撮影実習～展示企画においての絵画撮影を通じ静態描写を理解する～
１２	総合基礎③】実習後撮影素材評価 ｶﾒﾗｵ及びﾐｷｻｰｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの更なる向上のため習熟訓練実施
１３	総合基礎④】各機材アクセサリー説明及び使用時効果解説
１４	前期復習①】前期習得した各理論における総復習及び筆記試験補足解説
１５	前期復習②】前期習得した各技術における総復習及び実技試験補足解説
１６	前期考査①】筆記試験
１７	前期考査②】実技試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0205	科 目 名	ＥＮＧロケ取材実習			科目区分	実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	高橋 栄樹　田中 健治			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	後期	単位数	２	授業形態.	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布		
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

１．授業概要

前期で学んだことを生かし、主旨やテーマを確実に「伝える」「伝わる」ための方法論を会得する。
担当教員は日本テレビ放送網株式会社報道局映像取材部及び系列放送局報道部にて 20 年以上所属、実地勤務した経緯を有し常に最前線の取材現場にてカメラと音声を担当、その技術を惜しみなく伝えることで高度な専門性を会得させる。

２．到達目標

作品制作の過程を理解しそして完成させ、更に伝えることに重きを置いた表現者となるよう成長する。

３．授業計画

後期	
１	前期の復習】前期習得した各理論及び各技術における総復習 ｶﾒﾗｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの習熟訓練実施
２	照明基礎①】照明機材説明 効果解説及び取り扱い方法
３	照明基礎②】撮影実習～照明を使用しその効果を実感する 人物及び物撮り(湯気の出し方)～
４	総合演習①】撮影実習～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅰ～
５	総合演習②】撮影実習～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅱ～
６	総合演習③】中継車実習～中継車を用いた大規模舞台(ミュージカル)撮影実施～
７	総合演習④】中継車実習～撮影素材評価及び中継車実習における肝要な気づきの再確認～
８	総合演習⑤】撮影実習～９０秒の動画作品制作 企画会議～
９	総合演習⑥】撮影実習～９０秒の動画作品制作 ロケーションハンティング～
１０	総合演習⑦】撮影実習～９０秒の動画作品制作 取材Ⅰ～
１１	総合演習⑧】撮影実習～９０秒の動画作品制作 取材Ⅱ～
１２	総合演習⑨】撮影実習～作品鑑賞及び品評～
１３	２年次対応】撮影特機概要説明及び実践
１４	後期復習①】後期習得した各理論における総復習及び筆記試験補足解説
１５	後期復習②】後期習得した各技術における総復習及び実技試験補足解説
１６	後期考査①】筆記試験
１７	後期考査②】実技試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0206	科 目 名	コンテンツ制作Ⅰ			科目区分	専任・兼任
科 目 群	専門	担当講師	大野紗耶子、原田千夢			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	演習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 70%、平常点 30%						

１．授業概要

パソコンを用いた実習で、放送映像学科で用いるアプリケーションソフトの基本的な使い方を学ぶ。

２．到達目標

放送機材の基本的な取扱い方とパソコンの基本操作ができるようになる。

３．授業計画

前期	
1	Photoshop の操作概要
2	フォトレタッチ操作①　コピースタンプツールの活用、色の調整
3	フォトレタッチ操作②　切り抜き操作、選択の操作
4	フォトレタッチ操作③　色の調整や変更
5	フォトアート作成①　レイヤの理解と活用
6	フォトアート作成②　ＣＤジャケット制作 1、写真サイズの修正
7	フォトアート作成③　ＣＤジャケット制作 2、レイヤースタイル設定
8	フォトアート作成③　フィルタ効果について人物の写真の修正（ほくろ、しみ)
9	フォトアート作成④　画像の合成
１０	Illustrator の基本操作　パーツの合成機能などを用いてイラストを描く・図形でキャラクターの作成
１１	Illustrator の基本操作
１２	Illustrator の基本操作　鉛筆ツールを使用してキャラクターの作成 1
１３	Illustrator の基本操作　鉛筆ツールを使用してキャラクターの作成 2
１４	Illustrator の基本操作　ペンツールで文字のトレース
１５	Illustrator で広告作成
１６	Photoshop と Illustrator の連携
１７	Photoshop と Illustrator の連携

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0207	科 目 名	コンテンツ制作Ⅱ			科目区分	専任・兼任
科 目 群	専門	担当講師	大野紗耶子、原田千夢			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	演習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 70%平常点 30%						

１．授業概要

After Effects、Premiere Pro の使用方法を正しく理解する。

２．到達目標

映像コンテンツの素材が作成できるようになる。

３．授業計画

後期	
1	Adobe Premiere Pro の基本操作①映像のカットの仕方
2	Adobe Premiere Pro の基本操作②テロップの挿入方法
3	Adobe Premiere Pro の基本操作③エフェクトの適用
4	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集①
5	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集②
6	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集③
7	After Effects を用いての総合作品制作①　動画・静止画の使用　人物を消す
8	After Effects を用いての総合作品制作②　動画・静止画の使用　エフェクトを用いる
9	After Effects を用いての総合作品制作③　動画・静止画の使用　ドラマで使える合成①
１０	After Effects を用いての総合作品制作④　動画・静止画の使用　ドラマで使える合成②
１１	After Effects を用いての総合作品制作⑤　動画・静止画の使用　ドラマで使える合成③
１２	After Effects を用いての総合作品制作⑥　動画・静止画の使用　ドラマで使える合成④
１３	複数の動画の合成①　光線のエフェクトの作成
１４	複数の動画の合成②　人物の動きに合わせたエフェクトの作成①
１５	複数の動画の合成③　人物の動きに合わせたエフェクトの作成②
１６	アプリケーション操作総合トレーニング１
１７	アプリケーション操作総合トレーニング２

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0208	科 目 名	企画演出論			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	小中　和哉			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	筆記試験 80％平常点や授業への貢献度 20％						

１．授業概要

演出技法の解説をした後にその技法が使われている映画の１シーンを見せて、現場ですぐに生かせる技術を身に付ける。参考作品を見せて分析・解説して映像作品への理解を深める。もしリモート授業になった場合でも対応できるテキストを用意する。

２．到達目標

放送番組のスタッフとして、最低限知っておくべき映像演出の技法を習得する。

３．授業計画

前期	
1	演出とは何か？制作現場において演出家が持つ役割、責任
2	カメラポジション、アングル、サイズ
3	基本のカメラワーク①カメラワーク（パン）
4	基本のカメラワーク②カメラワーク（ズーム）
5	基本のカメラワー③カメラワーク（移動、クレーン）
6	基本のカメラワーク④レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）前編
7	基本のカメラワーク⑤レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）後編
8	編集の基本①（モンタージュ論、カットつなぎの方法）
9	編集の基本②（様々な編集リズム、イマジナリーライン）
１０	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）①
１１	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）②
１２	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）③
１３	照明の基本（ライティングによる演出効果）
１４	色彩の演出、作品のルック
１５	前期末試験
１６	音響演出の基本（SE と音楽）②
１７	前期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0209	科 目 名	企画演出実習			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	小中　和哉			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題提出される脚本、企画書、構成案、スケジュール表の評価平均点 80%及び平常点や授業への貢献度 20%						

１．授業概要

テレビ番組、映画の制作で使われる企画書、脚本、構成案、スケジュール表などを作成できる能力を身に付ける。

２．到達目標

希望職種に関わらず企画制作の過程を理解する。

３．授業計画

前期	
１	脚本実習①　小説からシナリオ形式に書き起こす　解説
２	シナリオ書き
３	実際のシナリオとの比較　作品鑑賞
４	脚本実習②　決まったプロットから自分でシナリオを書く　解説
５	シナリオ書き①
６	シナリオ書き②
７	企画書実習　解説
８	企画書作り①
９	企画書作り②
１０	字コンテ実習　解説
１１	字コンテ書き①
１２	字コンテ書き②
１３	画コンテ実習　解説①
１４	画コンテ実習　解説②
１５	画コンテ実習　解説③
１６	画コンテ書き①
１７	画コンテ書き②
後期	
１	画コンテ書き②
２	画コンテ書き③
３	スケジュール表実習　解説
４	スケジュール表書き①
５	スケジュール表書き②
６	制作シミュレーション実習　脚本分析
７	本読み
８	立ち稽古
９	コンテ書き①
１０	コンテ書き②
１１	カメラワーク実習①
１２	カメラワーク実習②
１３	カメラワーク実習③
１４	カメラワーク実習④
１５	２年実習用脚本作成①
１６	２年実習用脚本作成②
１７	２年実習用脚本作成③

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0210	科 目 名	編集理論			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	高橋　　巌			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	授業毎にテキストを配布			参考書	必要に応じて提示		
成績評価	出席状況、小レポート、小テスト、期末試験で総合的に判断する						

１．授業概要

映像編集に関する基礎知識を学び、編集の面白さと奥深さを理解する

２．到達目標

編集の概念と役割の把握。編集専門職の業務内容を理解する。

３．授業計画

後期		
１	日常における編集	文化は編集である
２	ショットとカット	演出と編集の関係
３	編集の歴史	フィルムからデジタルへ
４	編集の倫理①	編集の作用
５	編集の倫理②	プロパガンダ
６	カットポイント	伝達のためのリズムと間
７	画と音	自然に見える不自然さ
８	モンタージュ	発明と発達
９	編集技法①	時空の構成
１０	編集技法②	エフェクトの意味
１１	編集技法③	形や動きの活用
１２	編集技法④	ＣＧとＣＧＩ
１３	サウンド編集 1	台詞と音楽と効果音の関係
１４	サウンド編集 2	フォーリーアーティスト
１５	総復習①	
１６	総復習②	
１７	定期試験	

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0211	科 目 名	インターンシップ			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	各企業先技術者（統括：高橋　栄樹）			履修区分	選択
開講学年	１年	開講学期	後期	単位数	1	授業形態.	実習
教 科 書	なし（企業研修のため）			教材・参考書　なし（企業研修のため）			
成績評価	一週間程度の企業研修に参加し、学びについてのレポート提出により評価						

１．授業概要

実際の各現場を体験することを目的とした校外企業研修制度参加者への成績評価及び単位付与。

２．到達目標

学校では決して学ぶことができない「最前線の現業」を経験し、未来像を具象化することに役立てる。

３．授業計画

後期	
1	企業内及び各現業実地においての研修並びに参加後レポート作成提出
2	（以下同文）
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
１０	
１１	
１２	
１３	
１４	
１５	
１６	
１７	注）企業研修制度のため実際の授業回数と異なる

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0212	科 目 名	技術基礎			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	鈴木　和弘			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	講師作成テキスト			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

１．授業概要

電気基礎や基礎単位を理解することにより、映像、音声、照明などの仕組みと放送機材全般に関連する操作や監視に必要な基礎知識を学ぶ

２．到達目標

映像音響技術について容易に理解できるようになる

３．授業計画

前期	
１	電気基礎ガイダンス、ＳＩ単位系について
２	電気関連のＳＩ単位と、単位に関わる接頭語について
３	明かりの単位　ルクス、カンデラ、ルーメン
４	光源の色温度
５	直流と電圧　電位　１次電池２次電池
６	直流と交流電源の特徴
７	周波数と周期
８	電気回路基礎　Ωの法則 序説
９	直列閉回路　並列閉回路
１０	抵抗回路の基礎、合成抵抗、電圧分割、消費電力
１１	電気回路における記号の基礎
１２	電子部品　コンデンサ、半導体、LED、変圧器
１３	デジタルデータ・アナログデーターの概念
１４	アナログデジタル変換と２進法
１５	デジタルの基礎　デジタルデータの単位　２進法 16 進法 10 進法
１６	技術基礎　前期レビュー
１７	期末試験
後期	
１	技術基礎試験問題解説。
２	信号の伝送に要する線数と不平衡・平衡回路
３	映像音声機器間の信号接続１
４	映像音声機器間の信号接続２
５	音声信号の AD 変換
６	音波の速度
７	デシベルの概念について
８	デシベルの応用と例題の解説
９	電気音響技術でのデシベル応用
１０	音響の基礎
１１	スタジオ音響とホール音響の特性
１２	電波の種類と特徴。地上波デジタル放送
１３	電波の周波数帯域　BS　4K8K 放送
１４	様々な用途のデジタル映像
１５	技術基礎後期レビュー
１６	技術基礎　総括
１７	期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0213	科 目 名	放送技術概論			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	鈴木　和弘			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	ポストプロダクション技術マニュアル			参考書	講師作成テキスト		
成績評価	筆記試験 100%						

1．授業概要

テレビ映像音声の基本原理及びデジタル信号、放送用機材の基本的な仕組みを理解する。

2．到達目標

放送分野の制作業務に必要な、様々な基礎的知識を習得する。

3．授業計画

前期	
1	放送概論ガイダンス
2	動画の原理、テレビジョンの基本原理
3	走査線の概念と同期信号
4	光と色彩の知識、色温度について
5	色の 3 原色と 3 属性について
6	レンズの基礎
7	レンズの知識(絞り)
8	レンズの知識(被写界深度) レンズの基礎まとめ
9	カメラ内での信号処理について（撮像素子、ガンマ）
１０	カメラ内での信号処理について（ホワイトバランス、ニー、ホワイトクリップ、ディテール）
１１	映像信号の基礎。波形モニターの見方と映像調整
１２	マイクの取り扱いについて
１３	世界各地の放送規格。コンポーネント信号、コンポジット信号について
１４	SD 信号と HD 信号の接続と転送について、SDI、IP
１５	前期放送概論レビュー
１６	前期放送概論レビュー
１７	前期期末試験
後期	
1	放送概論試験問題解説
2	デジタルビデオ信号の仕組みについて
3	放送用マスターモニターについて
4	VTR に関する基礎と映像音声データ基礎
5	映像音声データ運用に関する知識
6	タイムコードの基礎知識
7	スイッチャーと映像特殊効果について
8	ゲンロック（同期結合）の概念
9	信号用コネクター盤について、パッチ盤の仕組み
１０	映像関連の信号処理機材について
１１	インカムシステムの仕組みについて
１２	ミキシングコンソールとオーディオエフェクターの概要
１３	デジタルミキサとアナログミキサの特徴について
１４	映画フィルムからビデオへの変換技術、デジタルシネマの概要。劇場音響システム
１５	デジタルシネマとテレビ放送の技術的な特徴について
１６	後期放送概論レビュー
１７	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0214	科 目 名	テレビ音声			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井　吉春			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

１．授業概要

テレビ音声の役割を理解させ他の部署との協調性を常に保つよう指導して音声の基礎と機器の操作方法を習得する

２．到達目標

テレビ音声の業務内容と技術を理解する

３．授業計画

前期	
1	テレビ音声とはどのような科目なのかを具体的に説明
2	テレビにおける音声の役割と仕事の解説
3	ケーブルとコネクター、収録機の説明
4	マイクロフォンの種類および使い方の説明
5	ポータブルミキサーの使い方の説明 1
6	ポータブルミキサーの使い方の説明 2
7	スタジオ音声機器の説明
8	スタジオ音声機器の使い方の解説
9	パッチベイの説明
１０	音声調整卓の説明
１１	音声調整卓の使い方
１２	ENG の音声の仕事①
１３	ENG の音声の仕事②
１４	前期のまとめ 1
１５	前期のまとめ 2
１６	前期のまとめ 3
１７	期末試験
後期	
1	ENG の音声の仕事 1
2	ENG の音声の仕事 2
3	ドラマの音声 1
4	ドラマの音声 2
5	情報番組の音声 1
6	情報番組の音声 2
7	中継番組の音声 1
8	中継番組の音声 2
9	音楽番組の音声
１０	PA の説明とスタジオにおける簡易 PA
１１	ポスプロにおいての音声
１２	MA 1
１３	MA 2
１４	MA 3
１５	後期のまとめ 1
１６	後期のまとめ 2
１７	期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0215	科 目 名	スタジオ実習 II			科目区分	実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	高梨、鈴木、斎藤(孝)、菅谷			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし（都度参考資料配布）			参考書	（同左）		
成績評価	平常点や授業の貢献度 65%　番組制作課題作品の評価 35%						

１．授業概要

実習毎に設定されるテーマに応じて番組制作をグループ毎に行い、より実践的なスタジオ番組制作技術を習得する。そして当校の番組スタジオ実習室を活用し実習授業を積み重ねることで、来るべき未来に即戦力として活躍できるよう学生らの成長を促す。また実務経験教員である高梨先生はスタジオ業務におけるテクニカルディレクターとして４０年以上の経験があり、その高い経験値を最大限実習授業に反映させ、より実践的で先端的な授業を展開する。

２．到達目標

テレビ番組制作に関わる人材として通用する技能と意識を身に付ける

３．授業計画

前期	
１	自己紹介を行い、その自己紹介の模様を収録する
２	各種ケーブルの巻き方、カメラレンズの脱着の方法を学習する
３	カメラの移動方法（ペデスタル操作）を学習する
４	人物を撮影する際の各サイズを学習する
５	人物への照明の当て方、音の取り方を学習する
６	一人しゃべり、二人対談の撮影方法を学習する
７	三人対談、四人対談の撮影・音声・照明の各技術を学習する
８	五、六人時の対談撮影方法を学習する
９	胸像を使用しカメラワークと照明の当て方を学習する
１０	特機であるクレーン使用し、そのクレーンワークを学習する
１１	歌番組を制作し、撮影・音声・照明の各技術の能力を向上させる
１２	紙芝居を撮影し、カメラ割りとシーンに応じた照明効果を学習する①
１３	紙芝居を撮影し、カメラ割りとシーンに応じた照明効果を学習する②
１４	紙芝居を撮影し、カメラ割りとシーンに応じた照明効果を学習する③
１５	クロマキーを使用した映像合成技術を学習する
１６	前期まとめ、総復習①
１７	前期まとめ、総復習②
後期	
１	オリジナル番組を制作する　歌番組
２	オリジナル番組を制作する　ドラマ①
３	オリジナル番組を制作する　ドラマ②
４	オリジナル番組を制作する　ドラマ③
５	オリジナル番組を制作する　カードゲーム（UNO）①
６	オリジナル番組を制作する　カードゲーム（UNO）②
７	オリジナル番組を制作する　料理番組　準備
８	オリジナル番組を制作する　料理番組　本番
９	オリジナル番組を制作する　生放送番組　企画、準備①
１０	オリジナル番組を制作する　生放送番組　企画、準備②
１１	オリジナル番組を制作する　生放送番組　本番
１２	オリジナル番組を制作する　学校コマーシャル　企画、準備①
１３	オリジナル番組を制作する　学校コマーシャル　企画、準備②
１４	オリジナル番組を制作する　学校コマーシャル　収録
１５	オリジナル番組を制作する　制作した全ての番組の視聴、評価
１６	カメラの移動方法（ペデスタル操作）を復習し能力を更に向上させる
１７	カメラワークとサイズを復習し能力を更に向上させる

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0216	科 目 名	デジタルエフェクト			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	大和　拓			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品評価 60%平常点や授業への貢献度 40%						

1．授業概要

アフターエフェクツ（アプリケーション）を使った映像表現の技術を習得する。

2．到達目標

デジタル映像処理の基礎を理解し、作品づくりの基礎と心構えを習得する。

3．授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。基礎知識確認。
2	AE 基本操作解説。
3	AI 基礎技術練習。練習課題１時計。
4	練習課題１時計続き。
5	AI 基礎技術練習。練習課題２観覧車。
6	練習課題２観覧車続き。
7	練習課題２観覧車続き。
8	PS 基礎技術練習。練習課題３踊る名前。
9	課題４走る動物。
１０	課題４走る動物続き。
１１	課題４走る動物続き。
１２	課題４走る動物続き。
１３	AE 基礎技術解説。練習課題５惑星と衛星。
１４	AE 基礎技術解説。練習課題６箱。
１５	練習課題６箱続き。
１６	自由制作
１７	自由制作
後期	
1	練習課題７光る剣
2	練習課題７光る剣。続き。
3	練習課題７光る剣。続き。
4	エフェクト解説。
5	課題８　フットサルチーム紹介。
6	課題８　フットサルチーム紹介。続き。
7	課題８　フットサルチーム紹介。続き。
8	課題８　フットサルチーム紹介。続き。
9	課題８　フットサルチーム紹介。続き。品評会。
１０	課題１１架空のテレビ番組オープニング。
１１	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。
１２	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。
１３	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。
１４	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。
１５	品評会。総括。
１６	自由制作
１７	品評会。総括。

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0217	科 目 名	撮影技術実習(音声・照明・制作)			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井　吉春、加藤昭比古、古田　秀幸			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度、実習試験による評価と実習授業理解度、出席状況、提出物						

１．授業概要

・テレビ番組における撮影技術と音声の集音方法の為の機器操作や技術を習得する。
・各照明器具の特徴・操作。パネル・幕類のセッティング。安全対策。具体的な照明シーンの作り方。
　・主に番組の制作に役立つ内容を実践的に学んで頂く、就職後すぐに役立つ制作手法に加え自らが考え、発想し映像を作って行くことを学び、想像脳を作って行く。企画立案・スケジュール作成など、実践を交えたカリキュラムで制作の即戦力を付けていく。

２．到達目標

・ドラマ制作においての撮影方法、録音方法や CM 作りでの MA 技術を身に付ける。
・器具や周辺機器を正しく安全に使用し作業がスムーズに行える。卒業制作の照明プランが作成出来る様に。
・番組制作の流れを理解する。興味を持ってアイディアを映像という形に落とし込む技術を身に着ける。

３．授業計画

前期	
1	ドラマ撮影の準備／撮影現場の確認（照明スイッチ・ブラインド等）照明器具のセッティング点灯方法。
2	ドラマ撮影 1／スポットライト・フラッドライト（蛍光灯・LED 等）の特徴。操作方法。
3	ドラマ撮影 2／HMI・パーライト・枠・フィルターの特徴。操作方法。
4	ドラマ撮影 3／反射について。レフ板・カポックと直接照明の質の違い。影の違い。距離と角度。
5	ドラマ撮影 4／JPPA 対策
6	ドラマ撮影 5／JPPA 対策
7	ドラマ撮影 6／遮光について。フラッグ・アクセサリー類操作方法。パネル・幕類のセッティング。安全対策。
8	ドラマ MA 1 整音／その他照明器具（カッター系・小型器具等）の特徴。調光について。セッティング・操作方法。
9	ドラマ MA 2 整音／物撮り。写し・湯気出しの方法。
１０	ドラマ MA 3 整音／教室シーンを想定してイブニング・デイシーン。
１１	ドラマ MA 4 選曲／教室シーンを想定してナイトシーン（天井灯有無）。
１２	ドラマ MA 5 選曲／タイトショットの対応。
１３	ドラマ MA 6 MIX／クロマキー簡易セット・パネルセット建込み。課題に対しての照明セッティング。
１４	ドラマ MA 7 MIX／まとめ①照明作業手順と操作方法の復習。
１５	ドラマ MA 8 MIX／まとめ②照明作業手順と操作方法の復習。
１６	完成鑑賞①／まとめ③照明作業手順と操作方法の復習。
１７	完成鑑賞②／照明操作試験
後期	
1	30 秒 CM 作り 1 (制作工程説明)／自己紹介・映像制作基礎講座　班分け・制作のアイディア・テーマ出しについて
2	30 秒 CM 作り 2 (コンテ、原稿作り）／スケジュールを作成しよう　①
3	30 秒 CM 作り 3 (コンテ、原稿作り）／スケジュール制作振り返り　ロケ構成を作成しよう
4	30 秒 CM 作り 4 (コンテ、原稿作り）／ロケ台本の作成～発表
5	30 秒 CM 作り 5（映像作り）／CM　クライアントの要望に応えアイディアを出そう！（チームで絵コンテ作成）
6	30 秒 CM 作り 6 (映像作り）／CM 構想の振り返り
7	30 秒 CM 作り 7 (映像作り）／カメラ台数の使い方　１台～複数台の使い方

8	30 秒 CM 作り 8(映像編集) ／複数カメラのカメラ割り（台本・絵コンテ）
9	30 秒 CM 作り 9 (映像編集) ／複数カメラ　実技（３台を使った実技）
１０	30 秒 CM 作り 10 (MA) ／番組企画立案　テーマに沿った番組内容を考える
１１	30 秒 CM 作り 11 (MA)／番組企画のアウトプット　（a 発表）
１２	30 秒 CM 作り 12 (MA)／ロケ撮影実習①打ち合わせ（台本作成）
１３	完成鑑賞 1／ロケ撮影実習②（撮影）
１４	完成鑑賞 2／ロケ撮影実習③（撮影）
１５	卒業制作：ＭＡ1／ロケ機材総合復習、試験前説明
１６	卒業制作：ＭＡ2／後期期末試験①（筆記試験）
１７	卒業制作：ＭＡ3／後期期末試験②（筆記試験）

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0218	科 目 名	アートクリエイティブ実習			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	川田　直樹			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

１．授業概要

映像美術の基本を実践的に習得する他、映像作り全体から見たもの作りの考え方の習得。

２．到達目標

美術のパートはもとより他のパートにも必要な映像美術の基礎知識の習得。物作りの考え方の習得。

３．授業計画

前期	
１	映像美術の分業について 仕事においての安全性の確保① 時間の考え方
２	仕事においての安全性の確保②美術パートの工具や道具 持道具のつながり
３	台本を元に作成される美術パートの資料。様々な香盤表
４	美術パート、消え物について　台本を読むにあたり大切な因果関係、
５	空間の序列、上座、下座について　小道具　桐の箱の扱い方
６	模擬撮影①　台本の読み方捉え方 スタッフの編成と準備
７	模擬撮影②　1 時間限られた時間での撮影
８	模擬撮影③　検証　各班ごとの異なる様々な表現
９	フレーム内を作り上げる美術パートの作業。
１０	大道具 建具(襖や障子)について　小道具 掛け軸の扱い方。
１１	装飾パート　家具の扱い方や運び方。美術や小道具におけるキャラクター表現。
１２	平面図、イメージ画を自ら描き、図面の見方を学ぶ
１３	セットの空間(日本間)の各パーツの名称。各撮影所や各テレビ局の異なる基準。
１４	20 年後、映像業界に必ずおとずれる重要なテーマ
１５	短編映像作品(約 30 分)から映像作り全体を学ぶ
１６	前期授業の総復習
１７	前期試験
後期	
１	映像美術と舞台美術の比較。ライブ映像における舞台美術。
２	イベント、音楽フェスによる美術パートの仕事。
３	映画、ドラマ、バラエティ、情報番組の美術パートの作業の違い。
４	卒業制作を控えての美術パートの準備の進め方①
５	〃　②
６	〃　③
７	卒業制作の実践。作品作りの準備や撮影①各班(作品)ごと
８	〃　②　〃
９	〃　③　〃
１０	〃　④　〃
１１	〃　⑤　〃
１２	卒業制作を振り返って①
１３	〃　②
１４	卒業後について。仕事に対する取り組み方や考え方。
１５	1 年間の美術の授業について、卒制と映像美術について 2 種類のレポート①
１６	〃　②
１７	〃　③

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0219	科 目 名	番組制作論			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	金田　龍			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験及び番組企画書などの課題提出物 60%、平常点や授業への貢献度 40%						

１．授業概要

番組制作において実践的な技術や注意すべきこと、視聴者、出演者、スタッフ、撮影に関わる人との意思疎通のとり方を習得する。

２．到達目標

映像業界に就職するにあたり、知っておくべき番組制作の手順と慣習を身に付ける。

３．授業計画

前期	
１	制作・演出の仕事
２	○演出・脚本・演技について
３	〃
４	〃
５	○現場スタッフ各パートの役割・プロの現場について
６	〃
７	〃
８	○脚本から演出する作法
９	〃
１０	〃
１１	○作品研究
１２	〃
１３	〃
１４	ディベート①
１５	ディベート②
１６	ディベート③
１７	撮影現場についてレポート作成
後期	
１	○作品研究
２	〃
３	〃
４	学園祭準備
５	卒業制作準備①
６	〃　②
７	卒業制作撮影
８	〃
９	〃
１０	〃
１１	〃
１２	〃
１３	〃
１４	〃
１５	〃
１６	卒業制作レポート作成
１７	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0220	科 目 名	ドラマ演出論			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	小中　和哉			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	各課題のレポートを総合して評価する。						

１．授業概要

実際の映像作品を題材に、撮影する際に必要とされる基本的な演出方法を習得できる。

２．到達目標

演出業務に関わるメンバーとの意思疎通が円滑に出来るようになる。自分の狙いを言語化できるようになる。

３．授業計画

前期	
1	作品１上映
2	作品１上映＋解説
3	作品２上映
4	作品２上映＋解説
5	作品３上映＋解説
6	（試験対策授業）
7	（試験対策授業）
8	作品４上映＋解説
9	卒業制作企画書
１０	卒業制作企画書
１１	卒業制作企画書回し読み
１２	作品５上映
１３	作品５上映＋解説
１４	作品６上映
１５	作品６上映＋解説
１６	作品７上映
１７	作品７上映＋解説
後期	
1	作品８上映
2	作品８上映＋解説
3	作品９上映＋解説
4	作品 10 上映
5	作品 10 上映＋解説
6	作品 11 上映
7	作品 11 上映＋解説
8	卒業制作撮影
9	卒業制作撮影
１０	卒業制作撮影
１１	卒業制作撮影
１２	作品 12 上映
１３	作品 12 上映＋解説
１４	作品 13 上映
１５	作品 13 上映＋解説
１６	作品 14 上映
１７	作品 14 上映＋解説

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0221	科 目 名	ENG 番組制作実習 I			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	橋本 弘行　斉藤 みゅん			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	試験 80%（筆記 50%・実技 50%）、授業やグループへの貢献度 10%、その他課題評価 10%						

１．授業概要

主にロケ収録に於ける ENG カメラ・音声機材・照明の取り扱い方法を総合的に理解し、企画・演出・撮影進行に於ける制作分野も総合的に理解する。

２．到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

３．授業計画

前期	
１	自己紹介、１年次履修内容の復習（カメラ知識、音声知識、照明知識）
２	１年次の総復習（カメラセッティング、レンズの特徴、被写界深度、音声入出力、照明種類・色温度）
３	インタビュー撮影①練習（撮影方法、カメラワーク、照明の当て方、マイクの設置法）
４	インタビュー撮影②実践（校内ロケ撮影実習）
５	テーマに合わせた撮影方法①　テーマ・被写体決め・実践（校内ロケ撮影実習）
６	その他の撮影方法①インサート撮影（湯気の出る食品の照明の当て方、画角サイズ、構図）
７	自分たちで企画から撮影まで①　a,企画打ち合わせ
８	b,撮影準備
９	c,撮影
１０	d,撮影予備日
１１	撮影後のプレビュー・講評
１２	自分たちで企画から撮影まで②　a,企画打ち合わせ
１３	b,撮影準備
１４	c,撮影
１５	撮影後のプレビュー・講評、試験前説明等
１６	前期期末試験①（筆記試験）
１７	前期期末試験②（実技試験）

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0222	科 目 名	ENG 番組制作実習Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	専門	担当講師	橋本 弘行　斉藤 みゅん			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	試験 80%（筆記 50%・実技 50%）、授業やグループへの貢献度 10%、その他課題評価 10%						

１．授業概要

前期授業で習得した技法などを用いて、自主的に企画立案しより実践的な撮影技法を習得する。

２．到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

３．授業計画

後期	
１	前期期末試験解説
２	ロケ撮影実習①打ち合わせ
３	打ち合わせ
４	打ち合わせ予備日
５	撮影準備
６	撮影準備
７	撮影
８	撮影予備日
９	卒業制作の撮影①
１０	卒業制作の撮影②
１１	卒業制作の撮影③
１２	ロケ撮影実習②打ち合わせ
１３	撮影準備
１４	撮影
１５	ロケ機材総合復習、試験前説明
１６	後期期末試験①（筆記試験）
１７	後期期末試験②（実技試験）

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0223	科 目 名	ノンリニアエディティングⅠ			科目区分	専任・兼任
科 目 群	専門	担当講師	大野紗耶子、原田千夢			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

１．授業概要

1 年次に学んだノンリニア編集の基本操作の復習や、新たな機能の練習を行い、2 年次撮影素材の編集を行う事でより高度な編集技術を習得する。

２．到達目標

編集業務に於いてより実践的な編集処理が出来るようになる。

３．授業計画

前期		
1	龍踊り課題①：素材の確認、ビンの振分け・サブクリップ作成	
2	〃　②：編集の基本操作復習、ﾄﾘﾐﾝｸﾞ、ｶｯﾄの移動、一括編集	P2・microSD の取り込み
3	〃　③：スプリット編集や、音の編集	TFX：基本操作
4	〃　④：ｶﾗｰｺﾚｸｼｮﾝ、ﾓｰｼｮﾝｴﾌｪｸﾄ、ﾀｲﾄﾙﾂｰﾙ	TFX：キャラクター作成
5	〃　⑤：ｽﾃｯﾌﾟｲﾝ･ｱｳﾄ操作、ﾋﾟｸﾁｬｰｲﾝｴﾌｪｸﾄ、ｴｸｽﾎﾟｰﾄ設定	TFX：ロゴ作成
6	TFX：ワイプ・吹き出しテロップ作成・テロップ変換	
7	入学式素材素材のデジタイズ・トラッキング操作・	
8	入学式素材：素材のデジタイズ、トラッキング操作、デジタルカット、画面の合成	
9	オープンキャンパス動画の編集①：デジタイズ	
１０	〃　②：各自で編集	
１１	〃　③：各自で編集	TFX：サイドテロップ作成
１２	〃　④：白完ﾊﾟｹ、テロップ入れ	TFX：説明テロップ作成
１３	〃　⑤：完ﾊﾟｹエクスポート：MA 用 AAF/OMF	
１４	〃　⑥：QuickTime(課題提出用)	
１５	実技テスト	
１６	編集技術総合実習①	
１７	編集技術総合実習②	

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0224	科 目 名	ノンリニアエディティング II			科目区分	専任・兼任
科 目 群	専門	担当講師	大野紗耶子、原田千夢			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

１．授業概要

撮影実習で撮影した素材を用いて各自で編集を行い、作品として完成できる技能を習得する。

２．到達目標

Avid の操作習熟により、実践的な編集処理が出来るようになる。

３．授業計画

後期	
１	動画の合成①
２	動画の合成②
３	動画の合成③・他学生の作品を見てお互いに評価
４	スタジオ・ENG 素材の編集：素材の取り込み
５	スタジオ・ENG 素材の編集：素材の確認
６	スタジオ・ENG 素材の編集：粗編集
７	スタジオ・ENG 素材の編集：粗編集　TFX：素材に沿ったテロップ作成
８	スタジオ・ENG 素材の編集：白完　TFX：素材に沿ったテロップ作成
９	スタジオ・ENG 素材の編集：音楽つけ　TFX：素材に沿ったテロップ作成
１０	スタジオ・ENG 素材の編集：完成、提出
１１	ＥＮＧ撮影素材：素材の取り込み、カラーコレクション、エンドロールの作成
１２	ＥＮＧ撮影素材：提出用 QuickTimeMovie 作成
１３	卒業制作・2 年間まとめ作品：編集
１４	卒業制作・2 年間まとめ作品：　〃
１５	卒業制作・2 年間まとめ作品：MA 用書き出し AAF・QuickTimeMovie
１６	卒業制作・2 年間まとめ作品：MA 音戻し
１７	編集技術総合実習

科目の教育目標・授業計画　「２０２３年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0225	科 目 名	総合演習			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉、金田 龍、高橋 厳、他			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態.	演習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%授業への貢献度 40%、制作レポート評価 20%						

１．授業概要

講師、もしくは学生が作成した脚本をもとに講師が実際の演出を行い、学生は各パートの職種に分かれて撮影、編集を行い実際の制作プロセスを理解する。その後学生が講師の指導により演出も含めて全ての業務プロセスを行い、より自主的な制作能力を習得する

２．到達目標

テレビ番組、映画の制作で使われる脚本、画コンテ、スケジュール表などの作成が出来るようになる。
編集志望の学生はドラマの編集を中心に編集テクニックが上達する。
音声・ＭＡ希望の学生には別に時間をとり上達を目指す。

３．授業計画

前期	
1	現場の進め方講座
2	段取り実習「山小屋」
3	実習作品その１準備、打ち合わせ
4	実習作品その１撮影①
5	実習作品その１撮影②
6	実習作品その１撮影③、「山小屋」講評会
7	実習作品その１撮影④
8	実習作品その２準備、打ち合わせ
9	実習作品その２撮影①
１０	実習作品その２撮影②
１１	実習作品その２撮影③
１２	卒業制作作品のプレゼン、投票、班分け
１３	卒業制作作品の脚本打ち合わせ
１４	実習作品その１上映、講評、卒業制作作品シナリオ打ち合わせ
１５	実習作品その２撮影④、卒業制作シナリオ打ち合せ
１６	実習作品その２撮影⑤、卒業制作シナリオ打ち合わせ
１７	実習作品その２撮影⑥、卒業制作シナリオ打ち合わせ

科目の教育目標・授業計画　「2023 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0226	科 目 名	卒業制作			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	専門	担当講師	小中和哉、金田龍、高橋厳、斉藤みゅん			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	3	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%　授業への貢献度 40%、卒業制作レポート評価 20%						

1．授業概要

２年間の集大成として班ごとにオリジナルの作品を学生主体により制作する

2．到達目標

映像作品の企画から完成まで全てのプロセスを学生自身で実施できるようになる。

3．授業計画

後期	
1	卒業制作脚本打ち合わせ、制作打ち合わせ
2	卒業制作脚本打ち合わせ、制作打ち合わせ、実習作品２上映、講評会
3	卒業制作撮影準備①（ロケーションハンティングなど）
4	卒業制作撮影準備②（必要なものの手配など）
5	卒業制作撮影準備③
6	卒業制作の撮影①
7	卒業制作の撮影②
8	卒業制作の撮影③
9	卒業制作の撮影④
１０	編集①
１１	編集②
１２	編集③
１３	編集④
１４	ＭＡ①
１５	ＭＡ②
１６	ＭＡ③
１７	上映講評会